

2025 年 03 月

「気血営衛」の中医学概念及び臨床応用

上海中医薬大学付属日本校 陳 雷

一、「気血営衛」の概念について

（一）伝統漢字の概念

1. 気
2. 血
3. 営
4. 衛

（二）中医学の概念

1. 気
2. 血
3. 営
4. 衛

二、「気血営衛」の中医学臨床応用

（一）温熱病治療の応用——「衛気営血弁証」

1. 衛分証 病は肺、皮毛にある。
2. 気分証 病は胸膈、肺、胃、腸などにある。
3. 営分証 病は心、包絡にある。
4. 血分証 病は肝、腎にある。

（二）不眠症治療の応用

衛気巡行の失調 「衛気昼行於陽、陽気盛則寤；夜行於陰、陽気尽則寐」

（三）汗症治療の応用

営衛不和 汗出、或いは半身、或いは局部、悪風、全身酸痛、寒がったり熱くなったり、
舌淡紅、苔薄白 脈緩

（四）その他